

2017年1月19日

田川会長のオーストラリア訪問について

要旨：田川会長は双方向交流拡大の送り手の代表として、安倍総理のオーストラリア訪問機会を捉えて開催された日豪観光セミナーへ参加し、日豪の観光関係者に向けてメッセージを発信し、ターンブル首相との懇談にも参加した。

1. 日豪観光セミナーについて

- (1) 日時：2017年1月14日 11時30分～13時
- (2) 場所：シドニーヒルトン
- (3) 目的：日豪双方向交流拡大を目的とする
- (4) 主催：JNTO 共催 JATA 後援 観光庁
- (5) 参加者：約150名

主な参加者：

特別来賓 安倍総理

<日本側参加者>

田端国土交通審議官、松山理事長（JNTO）

田川会長（JATA）越智理事・事務局長（JATA）、堀坂社長（日本旅行）、

中沢日本局長（オーストラリア政府観光局）、荻野支社長（カンタス航空）

伊東会長（ANA ホールディングス）、岩崎社長（岩崎産業）、

加森社長（加森観光）、三木学長（東京都市大学）、折戸教授（玉川大学）など

<オーストラリア側参加者>

ジョン・オサリバン局長（オーストラリア政府観光局）

スティーブン・トンプソン太平洋地区営業統括（カンタス航空）など

旅行会社、ホテル、観光施設、メディア

- (6) 交流：日本→豪州 40万人 124% 豪州→日本 44万5千人 118%
- (7) 主な発言：①安倍総理

個人的なニセコとのかかわりに触れ、ニセコを世界ブランドにしたのはオーストラリアであること。東日本大震災の際の支援にも感謝。日本の様々なよさを理解してもらい、更なる交流を深めたい。

②松山理事長（JNTO）

双方以降交流が活発化。訪日45万人で記録更新。日本文化、和食、旅館滞在など日本の良さをアピールできる市場。季節が反対で年間を通じたプロモーションが可能。2019年のラグビーの際に、地方訪問が拡大する見込み。JNTOはオーストラリア政府観光局とMOUを結びノウハウを学ぶ。JATAと連携して双方向の目覚ましい発展を目指す。

③ジョン・オサリバン局長（オーストラリア政府観光局）

日本から40万人の訪問で、No.2の伸び率を示す重要マーケット。航空網の拡大が寄与。カンタス航空グループで3倍の供給、ANAの羽田便も貢献。ラグビーW杯やオリパラをフックにJNTO、JATAと連携して、双方向流拡大を目指す。

④田川会長（JATA）※全文別添

要旨：日本の渡航者数は1711万人で5.6%増加
オーストラリアへの渡航者数はもっとも増加

さらに加速させるためにMOUを締結
オーストラリアの魅力は自然だけではなく、シティにもある
旅行会社の真価を発揮して増やしたい



⑤その他の参加者の発言

・伊東会長（ANAホールディングス）

オーストラリアを増強していく。かつては観光客だけだったが、インバウンド客、ビジネス客、レジャー客の3本柱となって、中身が違ってきたことが好調の原因

・スティーブン・トンプソン太平洋地区営業統括（カンタス航空）

オーストラリア政府観光局とマーケティング・パートナーとして日本はアジアの最重点市場である。

バジェットタイプからプレミアムまでいろいろなタイプの展開が双方向に可能で有望である。



2. ビジネス代表団懇談

(1) 日時：2017年1月14日 17時15分～30時

(2) 場所：シドニー ターンブル首相公邸

(3) 参加者：同行ミッション22社の代表5名

三村会長（日豪経済委員会）、村山会長（三菱重工業）会長、

長門社長（日本郵政）、伊東会長（ANAホールディングス）、田川会長（JATA）

(4) ターンブル首相あいさつ、安倍総理によるメンバー紹介と各自のあいさつ

田川スピーチ（全文）

寒い日本から熱いオーストラリアに訪問し、熱いメッセージを届けたい。

1. ただいまご紹介いただきました日本旅行業協会会長の田川です。
世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) の副会長でアジアとオーストラリアを担当しています。松山理事長から日豪の人の交流が活発化していることやオーストラリアから日本の動きについてお話がありました。相互交流が盛んな交流大国こそ真の観光大国であると私は確信しています。
2. さて、私からは日本からオーストラリアについてお話しします。
昨年の日本人の海外渡航者数は前年を 5.6% 上回る 1711 万人に到達する見込みです。
3. その中でもオーストラリアへの渡航者数はもっとも伸び率が高く、24% の伸びを示し、40 万人に到達する見込みです。航空網の充実やプロモーション活動が功を奏したといえます。関係者の皆さまにお礼申し上げます。
なお、安全な Destination であるという評価も高かったという調査結果もでています。
4. この勢いを加速させ、継続させるために私たち日本旅行業協会は昨年 9 月に MOU を締結させていただきました。オーストラリアらしく記念にサブボードにトニー・サウスツーリズム・オーストラリア会長と私がサインしました。
さて、その目標人数は 2020 年に 70 万人です。かつて(1990 年代)に 80 万人を越える実績があるといえ、高い目標です。
かつてはケアンズのビーチリゾートへ向かう若者が半数を占めていました。マーケットも変化しています。いまやシニアのヘビーリピーターとミレニアル世代が中核マーケットです。目の肥えた成熟した消費者に訴えるものを提案しなくてはなりません。
5. 一昨年 12 月に JATA ボードメンバーでブリスベーンを訪問しました。
その際にヨットを貸しきりリバークルーズを体験させていただきました。
都会の中心部の河畔でサイクリング、キャニオリング、ジョキングを楽しむ人々の様子を見て、「生活の質の高さ」に感動しました。オーストラリアの魅力は雄大な大自然だけでなく、シティライフにもあるのだと気付かされました。

つまり「グッバイ クロコダイル ダンデイ」です
6. 新しい魅力を発掘し、市場に提案することが旅行会社の真価です。今年はその真価を発揮することを JATA の年頭の方針に掲げました。レジャー、ビジネス、MICE、教育等それぞれの分野で企画力、提案力、斡旋力、添乗力を発揮したいと思います。

7. 私たちがお約束した 70 万人を達成するためには、私たちの努力だけでは達成できません。

- ・ 航空輸送力の拡大

- ・ プロモーションの拡大

- ・ 緊密な業界関係者の連携

(現地から価値ある体験や五感に訴えるような企画を提案いただきたい)

まさにここにご列席の皆さんの力が必要です。

力を合わせて目標達成のために頑張りましょう！